

地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「特別講義 1」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース領域 3「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「特別講義 1」を開催しました。

Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

単回受講可
参加費無料

次世代の**がん**プロフェッショナル 養成プラン

放射線治療プログラムインテンシブコース

7月11日(金) 18:30~19:50
【領域3: チームで取り組む緩和的放射線治療】
特別講義 1 (Zoom)
『がん患者におけるリハビリテーション』

順天堂大学医学部附属順天堂医院
リハビリテーション部 技士長
北原エリ子 先生

がんプロ養成プランHP お問い合わせ用フォーム

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

連絡・問い合わせ先
順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230 (放射線科医局)
担当者 鹿間 直人、島村 彩子、遠藤 純子

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援: 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

特別講義 1

7月11日(金) 18:30~19:50 (Zoom 開催)

テーマ「がん患者におけるリハビリテーション」

講師: 北原 エリ子先生 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

座長: 鹿間 直人先生 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

要旨: がん患者に対するリハビリテーションは、がんそのものの症状に対するリハビリテーションと、がん治療の後遺症などに対するリハビリテーションに大別され、いずれも保険診療として行われています。リハビリテーションを担当する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが、どのような点に配慮し、どのようなゴールを設定して、日々のリハビリテーションを実施しているのかについて、経験事例を交えながら解説いただきました。放射線治療や薬物療法により症状緩和が得られることで、より効果的なりハビリテーションが実施できるというメッセージもいただきました。参加者は23名でした。



地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「演習 1」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 3「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「演習 1」を開催しました。

Radiation Therapy Program Intensive Course

単回受講可
参加費無料

単回受講申込フォーム

次世代の **がん** プロフェッショナル 養成プラン

放射線治療プログラムインテンシブコース

9月27日(土) 13:00~16:00 (Zoom)

《領域3：チームで取り組む緩和的放射線治療》

演習1『放射線粘膜炎に対する多面的アプローチ』

- ① ケース紹介 塚本友紀子先生(順天堂医院)
- ② 看護師の視点から(粘膜炎に対するケア) 大谷志津子先生(横浜市立市民病院)
- ③ 薬剤師の視点から(粘膜炎に対する薬物療法) 永吉ひとみ先生(順天堂医院)
- ④ 栄養士の視点から(粘膜炎に対する食事療法) 大脇真有先生(順天堂医院)
- ⑤ 歯科の視点から(口腔ケアのやり方) 山村佳子先生・森本夢菜先生(順天堂練馬病院)
- ⑥ 臨床心理士の視点から(辛い副作用と向き合うメンタル) 高橋啓示先生(順天堂医院)
- ⑦ 医師の視点から(治療計画) 岡野奈緒子先生(順天堂練馬病院)

がんプロ養成プランHP お問い合わせ用フォーム

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

連絡・問い合わせ先

順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230(放射線科医局)

担当者 鹿間直人、島村彰子、遠藤純子

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

演習 1

9月27日(土) 13:00~16:00 (Zoom 開催)

テーマ「放射線粘膜炎に対する多面的アプローチ」

講師：

- 1) ケース紹介：塚本 友紀子先生(順天堂医院)
- 2) 看護師の視点から(粘膜炎に対するケア)：大谷 志津子先生(横浜市立市民病院)
- 3) 薬剤師の視点から(粘膜炎に対する薬物療法)：永吉 ひとみ先生(順天堂医院)
- 4) 栄養士の視点から(粘膜炎に対する食事療法)：大脇 真有先生(順天堂医院)
- 5) 歯科の視点から(口腔ケアのやり方)：山村佳子先生、森本夢菜先生(順天堂練馬病院)
- 6) 臨床心理士の視点から(辛い副作用と向き合うメンタル)：高橋啓示先生(順天堂医院)
- 7) 医師の視点から(治療計画における配慮など)：岡野奈緒子先生(順天堂練馬病院)

要旨：放射線粘膜炎は頭頸部治療患者さんを中心に見られる有害事象であり、全身状態の悪化や副作用の悪化、治療効果の低減が起こらないようにするため、粘膜炎を起こさないように患者・医療者で協力してケアにあたる必要があります。現在もさまざまな職種が専門性を活かして関わることで、治療効果を高め、有害事象を軽減し、患者さんが治療を完遂するサポートを行なっています。今回は、多職種の専門性を活かした粘膜炎患者への関わり方、解釈、提案などを共有し、知識を深めました。ディスカッションでは医療者間でも情報共有し連携しながら関わっていくことの重要性が議論されました。また、具体的な提案などについても提示され、実臨床でも取り入れやすい情報提供がなされました。参加者は42名で、終了時のアンケートでも実臨床で取り入れられる内容がとても多かったとの感想が多く寄せられました。

地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「特別講義 2」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース領域 3「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「特別講義 2」を開催しました。

Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

単回受講可
参加費無料

次世代のがんプロフェッショナル
養成プラン

放射線治療プログラムインテンシブコース
11月14日(金) 18:30~19:50
特別講義2 (Zoom)
『がん患者に対する社会的サポート』
座長: 岡野 奈緒子 前任准教授 (順天堂練馬病院 放射線科)
順天堂大学医学部附属練馬病院 医療ソーシャルワーカー 馬場 太郎先生
西村 菜月先生
ケアリッツ・アンド・パートナーズ サービス提供責任者/介護福祉士
黒田 裕介先生

がんプロ養成プランHP お問い合わせ用フォーム

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

連絡・問い合わせ先
順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230 (放射線科医局)
担当者 鹿間 直人、島村 彩子、遠藤 純子

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

特別講義 2

11月14日(金) 18:30~19:50 (Zoom 開催)

テーマ「がん患者に対する社会的サポート」

講師: 馬場 太郎先生、西村 菜月先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院 MSW)

黒田 裕介先生 (ケアリッツ・アンド・パートナーズ サービス提供責任者/介護福祉士)

座長: 岡野 奈緒子先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

要旨: がん患者に対する社会的支援制度について、ソーシャルワーカーの業務とその詳細、社会保障制度の基準や内容、それらの活用方法と問題点などについて説明があり、「どのような場合に、ソーシャルワーカーに相談することができるのか」といった実臨床に即した内容について解説いただきました。また、医療機関において医療ソーシャルワーカーが介入した事例をもとに、実際に提供できるサービスやサポートについても解説いただきました。該当症例は長期に渡り医療機関を中心に地域の包括支援センターも含め多職種で連携して関わった症例であり、従来の認識よりも多くの関わりが可能であることを学ぶことができました。

続いて後半では、在宅ケアの部分にフォーカスし、介護福祉士(ヘルパー)の視点から地域医療における介護福祉士の役割について、実際の介入事例をもとにどのようなことに配慮しながらサービスやサポート提供しているか、またその実態について解説いただきました。実際の患者さんの自宅での生活における問題点などについても理解でき、個々人に合わせたきめ細やかな対応がされていることを知ることができました。

参加者は22名でした。

地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「演習 2」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 3 「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「演習 2」を開催しました。

Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

**単回受講可
参加費無料**

**次世代の「がん」プロフェッショナル
養成プラン**

放射線治療プログラムインテンシブコース
12月13日(土) 13:00~16:00
演習2 (順天堂医院 医局棟8階)
『多職種で取り組む包括的アセスメント』
—患者の思いを引き出すためのコミュニケーション—
座長: 岡野 奈緒子 先任准教授 (順天堂練馬病院 放射線科)

講師: 順天堂大学医学研究科 臨床腫瘍学 加藤俊介 主任教授
順天堂練馬病院 がん治療センター 奥出由香子 看護師長
順天堂医院 放射線科外来 塚本友紀子 看護主任 他

がんプロ養成プランHP お問い合わせ用フォーム

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

共催: 順天堂大学大学院医学研究科

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代の「がん」プロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援: 順天堂大学 次世代の「がん」プロフェッショナル養成プラン

演習 2

12月13日(土) 13:00~16:00 (順天堂医院 医局棟8階)

テーマ「多職種で取り組む包括的アセスメント-患者の思いを引き出すためのコミュニケーション-」

プログラム担当: 塚本 友紀子先生 (順天堂医院/放射線科外来 看護主任)

ファシリテーター: 山口 裕香先生、小玉 直子先生 (順天堂医院)

奥西 桃子先生 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

<スケジュール>

- ・オリエンテーション/ファシリテーター紹介/参加者紹介
- ・講義①「放射線治療現場における意思決定支援」岡野 奈緒子先生 (順天堂練馬病院 医師)
- ・アイスブレイク [もしばなゲーム]
- ・グループワーク①「前立腺癌骨転移の70代男性」のケース
- ・講義②「意思決定支援」奥出 由香子先生 (順天堂練馬病院 看護師)
- ・グループワーク②「乳房緩和照射の60代女性」のケース
- ・講義③「がん患者とのコミュニケーション」加藤 俊介先生 (順天堂医院 腫瘍内科医)

要旨: もしばなゲームをきっかけにグループメンバーのコミュニケーションを図りました。

講義では、日常的に接するケースに対応する中で、どのような視点や考え方、捉え方があるのか、医療者の立場での考え方を学びました。

その後、具体的な状況を設定したケースをもとに、包括的な視点でのアセスメントを実践し、各グループ内で患者さんの発した言葉の背景や思い、必要としているサポート、医療者ができる声かけ、などについて多職種で構成されたグループ内で話し合い、その結果について全体で発表し共有しました。職種によって、また参加者自身の背景や年齢、これまでの経験なども踏まえた多様な意見交換を行うことができました。参加者は16名でした。



地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「演習 3」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 3 「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「演習 3」を開催しました。



Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

**単回受講可
参加費無料**

次世代の**がん**プロフェッショナル 養成プラン

放射線治療プログラムインテンシブコース

《領域 3：チームで取り組む緩和的放射線治療》
演習 3 『多職種連携における診療放射線技師の役割』
1月10日（土） 13：00～16：00
会場：順天堂大学医学部 医局棟 8階 会議室 1

コーディネーター：岡野奈緒子（順天堂練馬病院）
ファシリテーター：稲毛由佳（順天堂練馬病院） 大嶋健悟（獨協医大埼玉医療センター）
高橋英一（都立駒込病院） 原直哉（順天堂医院）
藤木浩子（多摩総合医療センター）

がんプロ養成プランHP  お問い合わせ用フォーム 

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

連絡・問い合わせ先
順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230 (放射線科医局)

担当者 鹿間直人、島村彩子、遠藤純子

共催：順天堂大学大学院医学研究科

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

演習 3

1月10日（土）13：00～16：00（順天堂医院 医局棟 8階）

テーマ「多職種連携における診療放射線技師の役割」

プログラム担当：岡野 奈緒子先生（順天堂大学練馬病院/放射線科 医師）

ファシリテーター：稲毛 由香先生（順天堂大学練馬病院 診療放射線技師）

大嶋 健悟先生（獨協医大埼玉医療センター・診療放射線技師）

高橋 英一先生（都立駒込病院・診療放射線技師）

原 直哉先生（順天堂医院・診療放射線技師）

藤木 浩子先生（多摩総合医療センター・放射線療法認定看護師）

<スケジュール>

- ・オリエンテーション/ファシリテーター紹介/参加者紹介
- ・グループワーク①（アイスブレイク）：「仕事見える化ボード」日常臨床編
- ・講義①「診療放射線技師（治療）の役割」岡野 奈緒子先生（順天堂練馬病院 医師）
- ・ロールプレイ<2名1組>：緩和的放射線治療患者の初診
（問診から放射線治療のやり方の説明[簡易]）症例：前立腺癌骨転移、乳癌骨転移
- ・講義②「患者の満足度を上げるコミュニケーションのコツ」
菅野 康二先生（順天堂東京江東高齢者医療センター/呼吸器内科 医師）
- ・グループワーク②「仕事見える化ボード」 シチュエーションカード編

要旨：仕事が「見える化ボード」を中心に施設ごとに各職種での業務分担の実際について視覚化しながら共有しました。その後、骨転移の症例を題材に普段あまり立ち会うことのない診察の場面を体験し、患者とのコミュニケーションの取り方を試行錯誤したり、そこから診療放射線技師ができることなどをペアで考えたり、お互いにフィードバックしました。また、2つのミニレクチャーを踏まえ、後半では装置故障時や体位保持困難など実際の治療で起こるようなシチュエーションでの対応について「見える化ボード」を用いて検討し、通常業務との違いを確認しました。施設による業務の種類やその分担について共有し、日常臨床を振り返るとともに、緊急時の対応や流れについても各グループともによく検討され、緊急時対応などでは特に同時進行の業務が増えることから各職種間で意識的に情報共有をするように心がけることなどが提案されました。また、「見える化ボード」など、他の機会でも使用できるコンテンツが作成され、その有用性が確認できました。参加者は23名でした。

